



笑顔と夢を
未来につなぐまち



広報おけと
KETO

2020

12



今年もたくさん
実りました



人と、木と、おけと

11/14 置戸小学校学芸会



1年生劇…大きなかぶ



2年生劇(表現)…ニコニコせんたい2ネンジャー



4年生器楽と表現…南中ソーランほか



6年生劇…水戸黄門

11/14 勝山温泉ゆゆイルミネーション点灯式



やさしい光で彩られたゆゆゆ入回



イルミネーションを背に笑顔の参加者たち

ひとまち
おけと

11/20 境野福寿クラブレクリエーション



運動で心身ともに楽しくすっきり





Oketo
11.18
TOPICS



置中1日防災学校

11月18日、置戸中学校にて、防災について学びを深める1日防災学校が行われました。地震が発生したと想定し、とっさに身を守るシェイクアウト方式の避難訓練を行った後、防災グループワークを実施。「2週間前に起こった地震で、避難している人が困っていること」をテーマにグループで考え、避難所から中継リポートをする形で全体に発表。より実践的な学びを深めました。

Oketo
11.19
TOPICS



網走中部森林管理署へ献血功勞表彰を伝達

輸血医療を支える献血運動の推進に、継続的に協力した団体へ贈られる「献血功勞表彰」を網走中部森林管理署が受賞。11月19日、深川町長より日本赤十字社北海道支部長金柁感謝状の伝達が行われました。網走中部森林管理署は、10年以上に渡って献血活動の推進に協力しており、田中署長は「大変嬉しく思います。声かけをしながら今後も協力していきたいです。」と話していました。

Oketo
11.22
Digital



白樺の生木からニマの器を作る

白樺の生木を使った「縄文式木工 ニマの器をつくろう」が11月22日、どま工房で行われました。このワークショップは、10月から開催されている秋岡コレクション企画展「ドマしよう。ーあそんで ならって あじわって」の一環として実施。参加者は、那珂研究員の指導の下、のみと玄能を使って材料を彫り器を完成させ、木工の楽しさと心地よい達成感を味わっていました。

Oketo
11.26
TOPICS



置中3年生修学旅行発表報告会

置中3年生は、9月15日から3泊4日間で修学旅行を行い、東日本大震災で大きな影響を受けた宮城県と岩手県を訪れ、震災復興の状況を学びました。11月26日には、発表報告会を中学校体育館で開催。3年生は、スクリーンで写真などを見せながら、「実際に現地見学や話を聞くと、想像以上の恐ろしさを感じた」と震災学習や自主研修の学びを参観した在校生や保護者に伝えました。

まちづくり移動町長室開催



11月17日から25日にかけて、これまでの地域懇談会から内容を一新した「まちづくり移動町長室」が各地区4会場で開催されました。

各地区のテーマや課題について、それぞれ現状を説明した後、町長の考えや思いを伝え、懇談が始まりました。「おけとのまちづくり」について、町長と直接意見交換をするという新しい試みでしたが、延べ78人の参加があり、たくさんのご意見やご提案をいただきました。主な内容についてご紹介します。（紙面の都合上、内容を抜粋して掲載しています。）

境野地区

●11月17日（火） ●境野公民館 ●参加者15人

【テーマ】旧境野小学校校舎及び校庭等の利活用について

小学校の統廃合からすでに10年以上が経過し、旧境野小学校校舎も老朽化が進み、一部外壁の崩落や雨漏りしている箇所もあります。

現在、校舎の一部は工房として利用され、改修済みの体育館はバスケット少年団が週に2～3回練習で利用しています。

今後も校舎を利活用していくためには、建築基準法や消防法の基準を満たす大規模な改修が必要となるため、さらに老朽化が進み危険性が高くなれば、取り壊すことも選択肢の一つとして考えていかなければ

なりません。境野地区の皆さんにとって、思い入れの強い校舎の今後の利活用について皆さんからのご意見をお聞きました。

参加者 校舎への思い入れも時間とともに徐々に薄れてきている。体育館は利用も多く、周辺も草刈りなど綺麗に管理されているが、校舎は老朽化していくため、（体育館以外の部分は）早いうちの取り壊しがベストではないのだろうか。どこの市町村でも農村部の小さな学校の跡地利用はうまくいっていない。地域の高齢化を考えると、今後の管理を含めて取り壊し以外の選択肢はないように思う。

町長 現在校舎を利用している方がいることから、すぐに取り壊しにはならないが、現状について徐々にお話しさせていただき、ご理解いただくしかないと思っている。今後において取り壊しとなった場合は、跡地活用をどうしていくのか、地域の皆さんと改めてお話しさせていただきたい。

参加者 案として、子どもを中心とした考えの公園ではなく、高齢の方向けの「大人の公園」として整備してはどうだろうか。桜や紅葉を植栽し、景観の良い大人が集える公園があっても良いのではないかと。

町長 管理の仕方も含め、地域にとってより良い利用方法を検討していきたい。

【テーマ】防犯対策について

境野地区の道道付近において不法投棄が相次ぎ、その対策の一環として、北海道が監視カメラを設置しました。

監視カメラは犯罪の抑止力に効果的ではありますが、反面プライバシー保護などの課題もあります。それぞれの地域の中で、声かけ運動や訪問によって犯罪を抑止していく町にしていきたいこともあり、現状としては、町内に監視カメラを設置する考えはありませんが、防犯について皆さんからのご意見をお聞きしました。

参加者 境野交流センター「あぐり」は、特に冬の時期に子どもが施設内で遊ぶことが多い。トイレの使用で不特定多数の人が出入りするため、監視カメラの設置が必要になると思う。

町長 公共施設で不特定多数の人が出入りしている場所には、監視カメラの設置も考慮していきたい。「あぐり」には、大型トラックの運転手等、町外の方がトイレを利用している姿が見受けられるため、危険が及ぶようであれば、すぐに声をお寄せいただきたい。

秋田地区

●11月19日（木）●秋田地区住民センター●参加者20人

【テーマ】地域おこし協力隊の活用を含めた移住・定住対策について

地遊人制度がモデルとなり日本中に広がった「地域おこし協力隊」制度を積極的に活用するべく、現在、令和3年4月からの採用に向け、観光振興と特産品開発や新たな体験イベント支援、おけと勝山温泉ゆうや勝山ふれあい農園の支援、林業への支援と自分の特技を生かしたまちづくりのフリーミッションに携わってもらうため、5職種総勢8人を募集しています。

地域に密着した地域おこし協力隊の活動を通じて、それぞれの地域での定住が促進されるため、皆さんからのご意見をお聞きしました。

参加者 農業に従事する人材や町の魅力となる部分を担う人材も来てほしい。最初からプランを固めすぎると制度の良さが生きてこない。1年目は町や地域を体験してもらい、

その次に隊員の活動内容について考えていけばいいのではないかと。

町長 農業は魅力的な産業。農業分野での隊員募集には受入れ体制等、十分な準備ができない。応募に繋げるには、差別化を図ることが必要で年度の途中からでも手応えがあれば募集職種を広めていきたい。

参加者 地遊人制度と地域おこし協力隊とは全く異なったイメージで、テレビで取り上げられている隊員は、さまざまな技術を持った人材が脚光を浴びているが、そんな隊員は一握りしかいない。指導や助言ができる人を付けた方がいい。

町長 地域おこし協力隊は、活動する上でさまざまな制約があるが、制度の強味を生かしながら利用していきたい。地遊人制度は、農業を中心として地域の皆さんが一生懸命関わってくれたことが成功の秘訣だったと思う。参考にしながらさまざまな方策を考えたい。

参加者 観光協会や商工会・ホームページで情報発信をしているが、他の町に比べ全体的にIT分野が遅れている。今後、ブロードバンドが全町的に整備される。一つの業種ではなく、ユニバーサルにいろんなところに入ってもらえるような、または、ITなど一つの分野にある程度詳しい人で田舎に住みたい人に来てもらいたい。地域でバックアップし、なおかつ全町的に動けるような隊員としてはどうか。

町長 自分の特技を生かしたフリーミッションの隊員も募集し、観光支援の中にはITを駆使し情報発信に特化した人が来てくれたらと期待している。これからの時代、情報発信は大切で有効活用したい。

●●●●● その他（テーマ以外のご意見等） ●●●●●

参加者 置戸町には立派な図書館があり、親としては子どもにたくさん本を読んでもらいたい。図書館の利用促進を図ってほしい。

教育長 今の子どもたちは、本を読む機会が減っている。本を読むことはとても大事なことです。デジタル教科書などで、紙媒体に触れる機会も減っている。まずは、身近な学校の図書館の利用喚起を考えたい。そのためにも図書館司書が学校訪問し、図書館の設営をするなど活用が大事だと考えている。

置戸地区

●11月24日（火） ●中央公民館 ●参加者24人

【テーマ】ふるさと銀河線跡地を活用した周辺エリアの再構築について

平成18年に廃線となったふるさと銀河線の跡地利用は、木道プロムナード構想やクラフトパーク構想などが考えられていたものの進捗していない状況にあります。一方では公共施設の老朽化も進み、児童センター（くるみの会）や森林工芸館、郷土資料館、秋岡資料等の整備も考えていかなければならず、これらの公共施設の配置も含め、改めて鉄道跡地の利用について皆さんからのご意見をお聞きしました。

参加者 さまざまな建物が散見しているが、置戸町存続には庁舎の建替が不可欠。役場は建設から50年以上経過し、継ぎ足しで事足りなくなっている。銀河線跡地を活用し、行政関係施設を隣接させて整備していくべき。高齢者にも優しい近代的な建物を望む。

町長 現庁舎の耐震化を進めるのであれば、4億円超、建替で20億円程度はかかるであろうと想定している。しかし、財源確保の目途がたたない。財源や再配置を含めて、木道プロムナード構想や銀河線跡地計画の見直しを進め、庁舎については、それらの目途がついてから考えたい。

参加者 郷土資料館の老朽化と秋岡資料の活用を合わせた秋岡生活資料館の建設案があったと思うが、どのように考えているのか。また、秋岡資料の考え方を知りたい。

町長 秋岡資料は、手仕事道具や生活用品など貴重な資料がたくさんあり、重要な置戸町の財産。一方で郷土資料館は、開拓の歴史から様々な資料が展示されている重要な施設。老朽化が著しいが、それぞれに施設を整備することは困難で、2つを合わせて活用していく施設が必要である。秋岡資料は、大いに活用していきたいと考えており、町民に秋岡資料を知ってもらうよう取り組んでいる。小学4～6年生、中学1～3年生に向けて、出張授業を行い、どんな生活の中でどう生かされてきたのかを考え、「ふるさと教育」の充実を図っている。

参加者 児童センターの場所を銀河線跡地に移設

したら、現在の場所が空く。役場庁舎の建替も含めて、銀河線跡地の計画をもう一度見直して、配置計画を全体で議論した方がいい。

町長 児童センターを建設するなら、くるみの会の利用児童だけではなく、町内の子どもたちが集まれる場（児童館）を作るべきと考えている。子どもたちも含めての検討や、働くスタッフの充実も考える必要があるため、多方面で議論をし、慎重に計画を練っていきたい。その他、高齢の方や社会貢献したい方が参画し、子育てや交流を図るというのも一つの案である。



勝山地区

●11月25日（水） ●勝山公民館 ●参加者19人

【テーマ】地域の公共交通について

現状、北見バス（勝山線）の乗車率は他の路線に比べて非常に低く、将来的にバス路線が廃止になることが懸念されます。地域巡回バスは、公共交通である北見バス路線を重複しないように運行コースを設定しています。今後の北見バスの動向は非常に重要で、仮に路線が廃止された場合は、地域巡回バスのコース見直しや増便を検討していかなくてはなりません。将来を見据え、地域の足をどう確保していくのか、皆さんからのご意見をお聞きしました。

参加者 現在の勝山での地域巡回バス運行で、時間帯や乗降場所変更等、利用者からの要望は？予約制を取って自宅前での乗降の仕組みがあれば、もっと利用しやすくなるのでは。

町長 以前から同じダイヤで運行しているが、現在変更の要望はない。予約制（デマンド化）は、導入時にも検討したが、町内ハイヤー

事業者との競合となることが危惧される。

参加者 高齢者が運転免許証を返納した場合、現在の地域巡回バスのコース運行では利用しづらい。乗車場所まで遠く、歩いて行かなければならない。将来的には、常元春日が週1回、市街地が週2回程度の運行をお願いしたい。

町長 路線などを工夫し利便性を高めることは可能だと考える。北見バスの状況に応じ、増便やスクールバスの活用など、地域の足を合理的で効果的な存続をしていければと思う。町内ハイヤー事業者と地域巡回バスの住み分けも必要。アイデアがあればご意見をいただきたい。

..... その他(テーマ以外のご意見等)

参加者 移住ならではの苦勞など情報共有のため、移住者を対象に意見交換する場が必要。移住者の声が届かないと、生活に馴染めず離町の可能性もある。これまでオケクラフトの研修生を相当数輩出しているが、20名程度の定着。この意味を町は考えるべきである。2年間無収入での研修の見直し、卒業後のサポート体制をきちんと整えてほしい。

町長 移住された方の意見を聞く場はとても重要で地遊人制度の際も行っていた。オケクラフト研修制度は、第6次総合計画でも見直しされ、教育から産業化の方向性が出ている。サポート体制や制度上のことも含め、見直しを図っていきたい。



返礼品付ふるさと納税

全国に置戸町の特産品を届けることで「ふるさとおけと」の宣伝になり、そのために特産品を新たに生み出したりすることが地域の活性化、経済の活性

化に繋がることから返礼品付のふるさと納税を考えています。

新たな商品開発には時間を要するため、まずはこれまで培ってきた品々を元に事業展開を考えております。食品は衛生管理など気を付ける部分が多く、オケクラフトは、生産量が需要に応えられるかなど課題もたくさんあります。置戸町ならではのおけと勝山温泉ゆうゆの宿泊券などサービスを返礼品にすることも考えられ、検討を進めていきたいことを皆さんに説明し、ご意見やアイデアをいただきました。

未整備地区の光回線整備事業

置戸町では、未整備地区(秋田・境野・勝山、置戸の一部の地域)の皆さんからも強い要望があった光回線整備について、防災対策や新型コロナウイルス感染症対策でますますインターネットの需要が高まることが予想されることから、NTTに要望して整備を進めています。光回線が整備されることにより通信環境が安定し、通信速度も格段に上がります。今後のサービス利用については、一定数以上の利用者数が必要になるため、未整備地区の皆さんに事前申込の協力依頼がされました。

Q いつ頃から光回線は利用可能になるのか。

A 現在、全国一斉に工事が進められていることから、令和3年度中のサービス提供を目指している状況。NTTには、1日も早いサービス提供をお願いしている。

今回の「まちづくり移動町長室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため時間的制約の中での開催となりましたが、たくさんの方からご意見・ご提案をいただきました。参考にさせていただき、住みよいまちづくりを進めてまいります。

また、庁舎2階にある町長室は、来客や打ち合わせの時以外、扉は開かれています。お気軽に町長室にもお立ち寄りいただき、皆さんのご意見・ご提案をお聞かせください。

今回の内容についてのお問い合わせは、
企画財政課地域情報係(☎52-3312)まで

令和2年度 健康と福祉のおまつり いきいきライフフェスティバル 結果発表！！

今年度の「いきいきライフフェスティバル」は、3密を避けるため、例年のような講演会や体験コーナー形式ではなく、町内健康スタンプラリーや健康・福祉にまつわる川柳コンテスト、脱・フレイル！！と称して筋肉量増加を競う新しいかたちで開催されました。

多くの皆さんに参加いただき、次のような結果となりましたので、ご報告いたします。

■川柳コンテスト テーマ「健康・福祉」

応募総数155作 厳選なる審査のうえ選ばれました作品をご紹介します。

いきいきライフフェスティバル大賞 置戸町特産品詰め合わせ（1万円分）

「健康は いつも笑顔で 過ごすこと」 小林 未幸

審査員特別賞 2作 置戸町特産品詰め合わせ（5千円分）

「わたしはね にくがだいすき げんきでる」 ゆらら

「妻の指示 マスク手洗い 皿洗い」 まどマギ

優秀賞 5作（町内商品券 千円分）

「木や森を 守れば人も 長生きだ」 青いかぼちゃ

「親孝行 したいときには 要介護」 フラン

「マスクして GOTO健康 対コロナ」 理事長先生

「健診の 結果に一憂 するばかり」 豚串

「おでかけ前 スマホ財布に マスクある？」 歩くあやちっす



■脱・フレイル！！ 筋力測定

初回計測と最終計測の筋肉量を差し引きし、もっとも筋肉量が増えていた人1位～3位の方に5千円分の「篠原牛肉」がプレゼントされる企画です。総勢83名の方が参加されました。参加された皆さん、引き続き筋力アップに取り組みましょう。

1位 70歳代 女性 筋肉増加量 1.8kgアップ

2位 20歳代 男性 筋肉増加量 1.7kgアップ

3位 70歳代 女性 筋肉増加量 1.5kgアップ

いきいきライフフェスティバル終了後も筋力測定は随時受け付けております。日々の体力づくりにご活用ください。

YouTube動画「糖尿病を予防 しましょう」公開中★



糖尿病の予防に役立つ動画を北海道栄養士会と共同作成しました。町ホームページより動画をご覧ください、元気に過ごすために役立ててください。

■お問い合わせ 地域福祉センターほのか健康推進係 (☎52-3333)



北海道日本ハムファイターズ 置戸町応援大使

中田選手・清水選手 ありがとう！



まちづくり・まちおこしのために、北海道日本ハムファイターズの選手たちが応援大使となって協力するプロジェクト「北海道179市町村応援大使」。2020年の応援大使として本町をPR・交流して下さった中田選手と清水選手、関係者の皆さま、ありがとうございました。



事前アンケートを基に、11月17日は中田選手、19日は清水選手の好きなご当地の給食メニューが学校給食で提供されました。
中田選手：もぶりご飯、お好み焼き、呉汁
清水選手：卵うどん、いかじゃが炒め、パインの缶詰



12月6日応援大使選手とオンラインで交流する「置戸町応援大使オンライン選手交流会」が中央公民館で行われました。特別映像上映として2020年シーズンの映像や、ファンフェスティバルの中継を視聴。その後、札幌ドームからネット中継にて、応援大使選手である中田選手、清水選手との交流が行われました。子どもたちから選手への質問など、参加者は交流を楽しみました。



褒章、叙勲受章おめでとうございます

長年の功績が認められ、秋の褒章、叙勲を受章した3氏に11月24日深川町長から伝達が行われました。

沼津一憲氏 藍綬褒章(消防功労)

沼津一憲氏は、昭和59年11月に置戸消防団に入団。平成23年に置戸分団長、令和元年からは置戸消防団長として、優れた実行力と指導力を発揮しています。火災予防対策活動においては、住宅用火災警報器の普及PRや設置状況の訪問調査を実施し、効果を上げています。また、少子高齢化と過疎が進み、消防団員の確保に大きな影響を受ける中、町内事業所を訪問し入団促進。多くの消防団協力事業所を認定につなげました。

木村茂廣氏 瑞宝双光章(消防功労)

木村茂廣氏は、昭和46年3月に置戸消防団に入団。平成8年から境野分団長、平成27年から4年間は置戸消防団長を務めました。団員の資質向上を図るため、部下団員に各種教養研修へ積極的に参加するよう呼び掛けるとともに、自らも率先し参加。基本訓練の熟知と応用技術の錬磨に重点を置き、災害時における迅速かつ的確な行動ができるよう自ら指導を行い、より優秀な消防人を育成するため尽力しました。

佐藤純一氏 旭日双光章(地方自治功労)

佐藤純一氏は、平成11年5月に住民の衆望を得て、置戸町議会議員に当選後、平成31年4月まで5期20年にわたり、住民福祉の向上と地域産業の振興に尽力。平成23年5月からの2期8年間は、議長として熟慮ある議会運営と、公正かつ誠意ある行動によって議決機関の長として町政の振興、発展に大きく貢献しました。平成30年には、議員定数の削減など、難しい問題にも取り組み常に住民の声に耳を傾ける議会活動に専念しました。



受章された沼津氏、木村氏、佐藤氏(左から)

まちづくり月記

置戸町長 深川 正美

年の瀬を迎え、間もなく2020年が終わろうとしています。振り返ると、「東京オリンピックピックのマラソンは札幌」というニュースも遠い記憶となるような、コロナ一色の一年だったのではないのでしょうか。

まちは人通りも少なく、外出に気を使い、楽しく集まることもままならず、商売をされている多くの方は売り上げを落し、辛い一年だったと思います。

私も予想外の一年で、町長に就任してはや半年、今この原稿を書いている自分に驚いています。初めてのことはかきりてうまくいかないことも多かったのですが、少し気持ちの余裕もできたからか不思議なもので町長室に色々な方が来ていただくと、「ガンバレよー」と励まされているように、心からありがたいと思えるようになりました。

コロナ禍の厳しい状況の中でも、元気で暮らす高齢者広くなったどんぐりで遊ぶ子どもたち、置戸で暮らすすべての皆さんが、住んでいて良かったと実感できる町になるよう頑張りますので、皆さん遠慮なくまちづくりにご意見を寄せください。

先日、役場課長会議で「一燈照隅、萬燈遍照」安岡正篤師の言葉を調べてほしいと話しました。「職員一人一人が燈を照らせば、世の中を明るくすることができる」その一つの燈となってほしいという意味です。これから職員とともにこの意味を考え、実践して町民の笑顔を増やそうと決意を新たにしております。

来年はコロナが収束し、皆さんが今年以上に良い年になりますようご祈念いたします。

介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査から見えること

今月の担当

高齢者福祉係長
尾崎 順

地域福祉センター・高齢者福祉係
(☎52-3333)

今年の6月から7月にかけて「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施しました。これは「高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定するにあたり、置戸町における要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況等から地域が抱える課題を把握することを目的としています。

要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に無作為抽出された650の方に調査票を郵送しました。

459通(回収率70.6%)の回答があり、多くの方にご協力いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

今回の調査結果とそこから見える地域が抱える課題の一部をご紹介します。

設問「住み慣れた置戸で暮らし続けていくために必要、またはさらなる充実が必要だと思うサービス等についてお答えください」

上位から順に「除雪・除草等外回りのこと」が43.6%、次いで「困ったときに助け合える地域の協力体制づくり」が37.0%、「必要な時に宿泊、

または一時的な入所ができる療養場所の充実」が25.3%でした。

「何かあった時」に不安を感じている方が多いようです。

単身高齢者や高齢者夫婦世帯等、高齢者のみの世帯が増えてきており、ちょっと困った時や何かあった時に手伝える人が家庭内にいなくなってきたのではないかとという状況も伺えます。

今後はそれぞれの多様なニーズに対応できるお手伝い、助け合える支援体制の充実や必要な時には宿泊・療養ができる場所の確保が必要なのではないかといった課題がみえてきます。

この他にも「外出を控えていますか」という設問に33.1%の方が「はい」と答え、その理由として「外での楽しみがない」「交通手段がない」といった社会的要因も挙げられています。

今回の調査の他にも様々なデータ等から把握された地域課題を関係者で共有し、課題解決に向けた具体的な取り組み等の協議を行い、計画策定の作業を進めています。

来年の春にはダイジェスト版を皆さんのお手元にお届けする予定です。

公共施設等の年末年始休業日のお知らせ

役場・地域福祉センター・教育委員会

12月30日(水)～1月4日(月)

各施設の休館日

- 中央公民館・各地区公民館
12月30日(水)～1月4日(月)
- ファミリースポーツセンター
12月30日(水)～1月4日(月)
- げんき
12月30日(水)～1月4日(月)
- 図書館
12月29日(火)～1月4日(月)
- オケクラフトセンター・森林工芸館
12月30日(水)～1月3日(日)

地域巡回バス運行業務の休業

12月29日(火)～1月4日(月)

ごみ収集業務の休業

12月30日(水)～1月4日(月)

一般廃棄物最終処分場の休業日

(粗大ゴミの自己搬入受け入れ)
12月31日(木)～1月4日(月)
*許可証の交付は12月29日(火)まで

その他

婚姻届、死亡届出事務については、閉庁日に関わらずお取り扱いします。

<町民生活課長(自宅) ☎52-3366>

このまちで暮す人、団体を紹介します。

#おけと生活

✂️ **すがわら まさき**
菅原 正樹さん (秋田)

■地元で美容室をオープン

置戸町出身で、札幌市の美容専門学校を卒業後、北見市で美容師として働いていた正樹さん。40歳までに自分の店を持ちたいなと思っていました。物件を探していたところ、現店舗の情報を聞き、「地元である置戸でお店を開こう」と昨年10月に美容室「SUGAYA」をオープンしました。子どもから高齢の方まで、幅広い年代の方々に利用されており、最近は町外のお客さんも増えてきているそうです。待合席には正樹さんの趣味である漫画や雑誌コーナーがあり、お子さん連れの方にも嬉しい空間です。「こだわりや思いを実現できて、やりがいを感じている。」とお話していました。

SUGAYA (スガヤ)

営業時間9：00-19：00／不定休



今回は、親子で同じ店舗にそれぞれお店を構える菅原正樹さん(子)、規子さん(母)を紹介します。

☕️ **すがわら のりこ**
菅原 規子さん (秋田)

■喫茶店に憧れて

「置戸に喫茶店がないから、思い切ってやってみようかな」と規子さん。もともと喫茶店に憧れがあったようで、「この場所を通して人と接することができたらいいな」と、知人の後押しもあり、昨年11月に「CAFE LaZo」をオープン。温かい雰囲気にも包まれた店内では、コーヒーでほっと一息ついたり、スパゲッティナポリタンなど軽食を食べることもできます。また、ご自宅のある秋田地区の繋がりから、マスクやポーチなどモノづくりをしている方の作品を取り扱っています。今後は、「ピザトーストやホットサンドなどパンを使ったメニューを考えていきたい。」とお話していました。

CAFE LaZo (カフェ ラーゾ)

営業時間11：00-19：00／不定休 (通常水曜日)



喜びと悲しみ(敬称略)

■ご出生おめでとうございます

- 野里 智也 男児 耀(よう) 拓殖 11/7
友里恵
- 今田 典弥 男児 蒼空(そら) 宮下 11/10
悠希

■ご結婚おめでとうございます

- 齊藤 悠也・阿部 綾香 豊住 11/17

■お悔やみ申し上げます

- 菅野 吉太郎 91歳 緑清園 11/11

編集後記

☆今年には耐え忍ぶことが多かったと思います。来年も、できることから一歩ずつ。皆さま良いお年をお迎えください。㊦

人の動き

- 世帯数 1,413世帯(+4世帯)
- 人 □ 2,782人(-1人)
- 男1,291人(±0人) 女1,491人(-1人)

令和2年11月30日現在()内は10月末比

■今月号の表紙：11月19日、「OGF借金返済プロジェクト2020」で5月より栽培してきた白花豆の脱穀が行われ、実行委員や町内外の応援者など10人ほどが集まり作業しました。